

[横浜市民ギャラリーあざみ野]
令和4年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積4,283㎡ 延床面積7,899㎡／専有面積1,975㎡
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針 ※原則5年間(2020年-2024年)変更なし。

【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。

多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。

コロナウイルス感染症との共存が日常となる中、感染症対策に引き続き取り組みます。

1 誰もが文化に触れる機会を提供

- ・当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への発信が求められています。外国語対

応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。

- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に積極的に活用します。
- ・市外からの来場者も多くあり高い評価を得ている、現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけのような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり

- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出やLGBTQに関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
- ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
- ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。

4 市民の皆さんに親しまれる施設に。安全で快適な施設に

- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

(2) 令和4年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

コロナ下において合理的・効果的な事業執行および施設運営を目指し、第4期指定管理提案に掲げた「6つの使命」に沿った事業を、特色を打ち出し、展開していくことができました。

「使命1」誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近になることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う地域社会の醸成につながることを目標に、子どもやファミリー向け事業をはじめ、さまざまな層に向けた事業を計画どおり開催しました。とくに子ども事業については、感染症予防を配慮し予約制による人数のコントロールや、参加者が安心して活動できる環境を整えながら、開催人数を漸次増やして実施しました。

今年度の大きな取り組みとして、文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」助成金の採択による、「認知症の方とその家族・介護者のための対話型鑑賞会」が挙げられます。社会全体で喫緊の課題である高齢者問題にアートを通して向き合うプログラムであり、高齢者や認知症患者が病気や環境の変化に左右されることなく、その家族・介護者などの関係者といっしょに、美術館やギャラリーへ出かけ、新しい経験をする楽しみを享受すること、つまり「日常をあきらめない」ことを目指し、新たにスタートさせた事業です。3回のファシリテーター養成研修を経て、2回の対話型鑑

賞会の実施、2回の専門家による座学講座を開催しました。当館エデュケーター・学芸員の専門性と、地域の関係者の専門性を重ね合わせ、アートが日常にもたやす可能性と、ギャラリーの存在意義を地域連携を通じて感じる機会となりました。

また、昨年度トライアルとして行った「外国人親子のためのフリーゾーン」を、今年度は公募にて開催し、この地域に住まう多様な属性の方が文化芸術にアプローチできる場を提供しました。

夏休みのこども事業「あざみ野こどもぎやらりい 2022」では、造形活動の場を「ラボ」に見立てて楽しんでもらいました。また最終日には「あざみ野ダンス・ラボ」を開催し、ダンスのワークショップとパフォーマンスを通じて身体表現の多様性を味わってもらいました。

8月にホームページのリニューアルによって、ウェブアクセシビリティ適合レベルに準拠し、スマートフォンにも対応できる仕様変更を行い、よりアクセスしやすく見やすいサイトになりました。

「使命 2」当館の特色の一つである現代アートへのアプローチについては、企画展「あざみ野コンテンポラリーvol.13」として「CLOTH × OVER 糸と布 日常と生を綴る」を開催し、糸と布を素材として「縫い」「織り」「刺繍」「染め」などのプロセスを通じて制作を続けるアーティストたちによる作品を紹介しました。身近な素材を用いながら、日常の機微、労働や手仕事の視点、ひいては生成と消滅の循環について、アーティスト3者3様のクロスオーバーする表現を、来場者に楽しんでいただきました。

また、『横浜市所蔵カメラ・写真コレクション』を軸とする企画展「あざみ野フォト・アニュアル 2023」では、「潮田登久子写真展 永遠のレッスン」及び「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 写真をめぐる距離」を開催し、目標数の2倍以上の6,000名超の来場者がありました。また、各種メディアにも取り上げられる注目の展示となり、横浜からの映像文化の発信を印象づける企画となりました。

エントランスで行う「ショーケースギャラリー」では、3つのテーマを設け、同時代を生きる若手アーティストに依頼し、それぞれ「カメラ・写真コレクション」「黄金町連携」「陶芸」と当館の特色にフォーカスする作品が並びました。

アーティストやその作品についてより理解や関心を深めてもらうために、アーティスト自身のことばで語り、伝えることは極めて有効です。企画展の関連イベントとして、アーティストトークや対談を開催し、興味と感心をひらく機会を提供しました。また、当館で展示等を行ったアーティストのインタビュー動画をWEBにアーカイブしており、今年度も企画展、ショーケースギャラリーの作家に加えあざみ野ダンス・ラボのダンサーたちのインタビュー9本をYouTubeで公開中です。

市民向け講座は、横浜市のガイドラインに沿って人数や換気に留意し、全講座予定通り開講しました。コロナ以降開催ができなかったヌード・クロッキー講座についても下期に再開が叶いました。

「使命 3」文化芸術の力を活かし、地域の課題とともに向き合うという大きな使命に対して、課題に向けて一步を踏み出した年となりました。具体的には使命1にも記述した「対話型鑑賞会」プログラムの展開です。実施にあたっては「やさしい街あざみ野実行委員会」での活動、地元の地域ケアプラザ、若年性認知症通所施設、コミュニティスペースやクリニックと繋がり、鑑賞会や講座とともに考え、企画していく過程がありました。

「使命 4」“文化芸術を媒介に北部地域の様々な公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会等

が相互につながり合う取り組みを進め、協働から地域の活力を生み出す” という使命に対し、昨年度「よこはま縁むすび講中実行委員会」が立ち上がりました。今年度も文化庁「Innovate MUSEUM」助成金が採択され、当館では3つの事業を「よこはま縁むすび講中」として位置づけ、展開しました。横浜市歴史博物館が中心となって北部4区の文化施設等が連携し、情報交換を行うなかで、新たに「和の(大)文化祭」など協働事業が生まれました。さらに音楽ホールがクローズ中の青葉区民文化センターフィリアホール・緑区民文化センターみどりアートパークとは定期的なオンライン情報交換を通じて関係性を深め、フィリアホールとは3本の連携事業、みどりアートパークとはピアレビューの実施や事業視察と、地域ネットワークの深化が進みました。

「使命5」コロナウイルス感染症対策に関しては「横浜市文化施設ガイドライン」をベースに、来館者が安心して利用できるよう、スタッフの経験と知見を活かして施設運営を行いました。利用者・来館者に「また次も使いたい」「また来たい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティあるコミュニケーションとより良い展示やご利用につながることを心がけ、アンケートやヒアリングによるご意見を運営に活かしました。

またダブルブッキングや個人情報漏洩などの事務処理ミスを防ぐために、施設予約に専用のシステム導入の検討を始めました。来年度下期に導入スタートの予定です。

「使命6」利用者の皆さんに安心・安全で快適な場を常に提供するために、センター横浜北・設備管理会社である西田装美と週一回の定例ミーティングを行い、施設の日常的な維持や予防的修繕対応に努めました。またスタッフ全員による実践的な防災訓練等によって、日々の防災意識を高めました。開館17年目を迎えエントランス部分の重篤な雨漏りを初め施設の劣化、不具合が見られ、逐次横浜市との情報共有を行いました。

横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについては、良好な状態で次代に引き継ぐよう、適切な管理を行いました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 使命1：横浜市北部地域の幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心として文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	{実施内容と達成状況}
● 高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み	● 高齢者(65歳以上)や認知症の方を対象にした事業 □ 実施 1回	■ 若年性認知症介護サービス会社 GrASP や横浜市荏田地域ケアプラザの協力により「対話型鑑賞会」を実施し、認知症の方とその家族や介護者が来館し鑑賞。 □ 対話型鑑賞会開催 2回 ・ 10/28 トライアル鑑賞会(共催 横浜市荏田地域ケアプラザ) 25名 ・ 2/22 若年性認知症とその家族・介護者のための鑑賞会(協力 GrASP(株)) 30名

<p>● 在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実</p>	<p>● 在住外国人ファミリー支援団体と協働し、事業に参加しやすい仕組みを模索</p> <p>□ 外国人親子対象のフリーズーンの開催 1回 30名</p> <p>□ 対象家族へのヒアリングの実施 1回</p> <p>■ 「親子のフリーズーン」の英語ちらし作成</p>	<p>□ 外国人親子のためのフリーズーン開催 1回 2/14 参加6組15名</p> <p>□ 参加者へのアンケート実施 1回</p> <p>□ 運営協力団体への事後ヒアリング実施 1回</p> <p>■ やさしい日本語・英語の2種類のちらしを作成</p> <p>■ やさしい日本語・英語の2種類の紹介動画を作成しYouTubeで公開</p> <p>※ よこはま縁むすび講中事業</p>
<p>● 幅広い市民の皆様の「やってみたい！」を応援</p>	<p>● 市民のためのプログラム</p> <p>□ 着衣クロッキー・ヌードクロッキー 20回 参加人数250人</p> <p>□ 透明水彩、デッサン、陶芸、写真、絵画技法5コース 22回 参加人数290人</p>	<p>■ 市民のためのプログラム開催</p> <p>※ 詳細は、「イ 使命2」にて記載</p>
	<p>● あざみ野カレッジ</p> <p>□ 文化芸術部門 4回 うち1回は大佛次郎記念館と連携</p> <p>□ 地域資源部門 3回 □ 年間参加人数 210名</p>	<p>□ あざみ野カレッジ「文化芸術部門」 年4回 計148名</p> <p>・ 4/17 「聞くとは何か 他者の話が聞けなくなるときの」講師 東畑開人 64名 ※大佛次郎記念館共催</p> <p>・ 7/23 美術史講座「シュザンヌ・ヴァラドン 19世紀末から20世紀初頭のパリに逞しく生きた女性画家」講師 沼田英子 31名</p> <p>・ 10/29 「ルース・アサワの芸術」講師 沢山遼 27名</p> <p>・ 12/20 「女性画家たちの戦争」講師 吉良智子 26名 ※男女共同参画センター横浜北共催</p> <p>□ あざみ野カレッジ「地域資源部門」 年3回 計79名</p> <p>・ 9/11 「アナログレコードで聴くウエストコースト・ジャズ名盤」講師 渋谷清 30名</p>

<p>●アートで子どもの情操や共感能力を育てる</p>	<p>●企画展「あざみ野こどもぎやらりい2022」開催 <input type="checkbox"/>開催時期：7月末～8月初（夏休み期間）10日間 <input type="checkbox"/>来場者 1,000名</p> <p>○小学校写真カメラワークショップ ※よこはま縁むすび講中共催 <input type="checkbox"/>ワークショップ 年1回 <input type="checkbox"/>展示「写真と俳句」1回</p>	<p>・9/24「横浜北部のニュータウン開発と鉄道」講師 平井誠二 28名 ・2/23「あざみ野フォト・アニュアル関連企画 ステレオ写真探訪」講師 日比谷安希子 21名（うちオンラインによる参加6名） ※2/23 よこはま縁むすび講中事業</p> <p><input type="checkbox"/>7/29-8/7「あざみ野こどもぎやらりい2022 ぞうけいラボ」739組/2,486名 展示室をアートの研究開発所「ラボラトリー」に見立て「アートなジュースづくり」「カラーテープでかべにお絵かき」「おさんぽお絵かき」「紙テープでジャングルづくり」を、子どもたちが研究員となって参加。</p> <p>■「みるラボ」コーナーでアニメーション作家ささきえりさんの映像作品を展示 ■アートサポーターの参加 のべ21名 ■時間制入場予約システムの導入</p> <p>■8/7 関連企画「あざみ野ダンス・ラボ」を開催し、夏休みならではの賑やかさとダンスを通じて表現の多様さを提示する場となった。</p> <p><input type="checkbox"/>参加者合計 120名 ・親子でK-POPを踊ってみよう 10組 21名 ・中高生コンテンポラリーダンス体験 9名 ・姿勢教室 22名 ※ ・中高生HIP-HOP 5名 ・あざみ野☆ナイト ダンスパフォーマンス 観覧者 63名</p> <p>※赤レンガ倉庫1号館共催 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p><input type="checkbox"/>ワークショップ 2校（のべ14回）開催 <input type="checkbox"/>参加児童数 233名</p> <p><input type="checkbox"/>7/29-8/7 展示「写真と俳句展～小学校5年生たちのまなざし」 1回 <input type="checkbox"/>来場者 830名</p>
-----------------------------	---	--

	<p>□展示来場者 300 名</p> <p>●予約制だよ！あざみ野 親子のフリーズーン</p> <p>□月 3 回／年 36 回開催 1 回 40 人</p> <p>□年間 1,440 名</p> <p>●子どもまたは家族のための造形プログラムの開催</p> <p>■年中・年長・低学年・高学年を対象とした子ども向け造形プログラム開催</p> <p>■あざみ野ファミリーワークショップと開催</p> <p>□年 13 講座 年間 224 名</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム</p>	<p>□予約制だよ！親子のフリーズーン</p> <p>月 3 回 計 36 回開催</p> <p>参加者数 399 組 1,362 名参加</p> <p>4/13・24・30、5/11・21・29、6/5・7・25、7/5・10・23、8/17・21・27、9/13・18・24、10/2・8・13、11/2・13・26、12/7・11・17、1/11・21・22、2/4・16・19、3/2・19・25</p> <p>□平均満足度 4.92 (5 点満点)</p> <p>□2/14 外国人親子特別フリーズーン【再掲】</p> <p>年 1 回／参加者数 6 組 15 名参加</p> <p>■コロナ感染症予防のため予約制による定員制を継続。上期は「道具を共有しない」「テーブルを分ける」ルールで開催。</p> <p>□子どものためのプログラム 計 13 回開催</p> <p>■子ども向け造形プログラム 10 講座 146 名、のべ 191 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/24「オリジナル T シャツをつくろう」(小 1-3 年) ・6/5「えのぐであそぼう」(年中組親子) ・8/21「色をつくろう」(年長組) ・9/18「動くオブジェをつくろう」(小 4-6 年) ・11/13「ダンボールでつくろう」(小 1-3 年) ・11/5, 12, 19, 26「油絵をかこう」(小 4-6 年) ・12/11「やきものをつくろう」(年長組) ・1/22「かみであそぼう」(年中組) ・2/19「木工しよう」(年長組) ・3/19「ねんどでつくろう」(小 1-3 年) <p>■あざみ野ファミリーワークショップ 3 講座 4 回 131 名</p> <p>小学生以下の子どもと保護者対象のワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/5「紙パックの船をつくろう」(2 回開催) ・10/23「ハロウィンのかざりをつくろう」 ・12/4「クリスマスかざりをつくろう」 <p>□横浜市芸術文化プラットフォーム 5 校実施</p>
--	---	--

	<p>□4校 250名</p>	<p>・7/6, 7, 8 すみれが丘小（6年生2クラス、のべ150名）山田裕介/リサイクルアート※ ・12/7, 14 荏田小（3年生2クラス 62名） 山田佐映子 /ダンボールアート ・12/8, 15, 16 つつじが丘小（2年生3クラス、のべ168名）川崎和美/ダンボールアート ・1/20, 26, 2/2 新羽小個別支援級（のべ60名） 平多理恵子/ダンス ・2/15, 17, 24 山内小（3年生4クラス、のべ372名） 南條健吾/コンテンポラリーダンス ※リサイクルアート資材協力：古河電工パワーシステムズ株式会社</p>
<p>●障がいのある方を対象とした事業</p>	<p>●親子で造形ピクニック □月1回/年12回開催 年間300名</p> <p>●学校のためのプログラム □10校 200名</p>	<p>□親子で造形ピクニック（個別支援学級や特別支援学校に通う親子が対象） 年間12回、参加者数：50組166名 4/9、5/14、6/4、7/16、8/6、9/10、10/15、11/5、12/10、1/14、2/11、3/11</p> <p>□造形活動による学校支援「アトリエ学校利用」 個別支援学級や特別支援学校の、学校単位での造形体験の場としてアトリエを提供。40名を超える場合は2回に分けて感染症防止対策を行い開催。 年間10校11回開催 参加者数：308名</p> <p>■青葉区小学校校長会にてアトリエ学校利用について紹介 ■北部4区小学校および市内特別支援学校への案内により21校から応募あり</p>
<p>●施設を訪れたすべての方々にアートの息吹を</p>	<p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」VOL.13 □10月 1回 1,500名 □アーティストトーク 1回 □ワークショップ 1回 ■Facebook、Twitter、InstagramなどSNSを</p>	<p>■企画展「あざみ野コンテンポラリー-Vol.13『CLOTH×OVER 糸と布 日常と生を綴る』 会期：10/8-10/30 □入場者数 1,604名 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>■Instagramを使ってビジュアルに訴える情報発信 ■女子美術大学学生ミュージアムスタディ演習でのTwitter発信</p>

	<p>活用した広報展開</p> <p>●企画展「あざみ野フォト・アニュアル 2023」 <input type="checkbox"/>年1回 2月 来場者数 各1,500名 <input type="checkbox"/>アーティストトーク 1回 <input type="checkbox"/>ワークショップ 1回 <input type="checkbox"/>カメラコレクション展ギャラリートーク 1回</p> <p>■Facebook、Twitter、InstagramなどSNSを活用した広報展開</p> <p>●Showcase Gallery <input type="checkbox"/>年3回 うち1回は黄金町バザールと同時期開催 <input type="checkbox"/>関連動画 YouTube 配信 3本</p> <p>●フェローアートギャラリー <input type="checkbox"/>年3回</p> <p>○フェローアート・ギャラリー・エクステンション <input type="checkbox"/>年1回、1か所</p>	<p>■企画展「あざみ野フォト・アニュアル 2023 潮田登久子 写真展 永遠のレッスン」・「コレクション展写真をめぐる距離」 会期：1/28-2/26 <input type="checkbox"/>入場者数 6,487名 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>■SNSを活用した情報を発信 特にInstagramではイイねが100を超えるポストも。</p> <p><input type="checkbox"/>Showcase Gallery (小展示) 1F エントランス ・7/23-9/19 アーティスト×横浜市所蔵カメラ写真コレクション 白井晴幸展 ・9/24-12/11 黄金町エリアマネジメントセンター 連携企画 瀧健太郎展 ・1/7-3/19 シリーズ陶の表現 茂田真史展</p> <p><input type="checkbox"/>展示作業のようすとアーティストインタビューの動画をYouTubeで配信 3本</p> <p><input type="checkbox"/>フェローアートギャラリー 年3回 2Fロビー 今年度より日照が強い夏季は、エクステンションとして他施設で展開 (1/26-4/24 武田佳子 前年度事業) ・4/27-6/26 小河原由紀子 ・9/28-11/27 Atelier Sunoiro ・2/1-3/26 毛利秀勝</p> <p><input type="checkbox"/>フェローアートギャラリー・エクステンション 年1回 ・7/23-9/26 長瀬明代</p>
--	---	---

	<p>※他施設と共催で開催</p> <p>○Welcome! ロビーコンサート □年 9 回 年間延べ 600 名 ※男女共同参画センター横浜北と共催 ※うち 2 回を青葉区民文化センターフィリアホールと共催</p> <p>●情報発信の充実 ■サイトリニューアル実装 □情報誌「アートあざみ野」の発行 年 3 回 ■事業・施設広報に SNS 活用</p>	<p>青葉区民文化センターフィリアホール外廊下（無料エリア）で展示 ※フィリアホール共催</p> <p>●Welcome! ロビーコンサート 1F エントランスロビー 横浜市民広間演奏会メンバーや都筑太鼓などによる無料の演奏会を開催。 ガイドラインに定めたアクティグエリアからの距離を保ち新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施</p> <p>□年 9 回、来場者数 計 1,218 名 5/29、6/12、7/10、7/31、9/11、10/23、11/13、1/8、3/12 ※10/23 は特別版としてレクチャールームで開催 ※すべて男女共同参画センター横浜北と共催 ※7/10、3/12 フィリアホール共催事業 ※9/11、10/23 横濱ジャズプロムナード連携事業 ※10/23 横浜みなとみらいホール協力事業 ※5/29、6/12、7/10、7/31、9/11、10/23、11/13 横浜アーツフェスティバル共催（横浜音祭り 2022）</p> <p>●あざみ野ロビーピアノ・プロジェクト 新たな試みとして、12 月からロビーコンサートで使用しているグランドピアノを毎日曜日 17:00-19:30 にどなたでも弾ける「ロビーピアノ」として開放</p> <p>■8 月にホームページのアクセシビリティ対応およびスマホ対応改修が完了し新サイトオープン ■スマホからのアクセスが増加 □「アートあざみ野」発行 5、9、1 月 3 回 ■Twitter、Facebook、Instagram を広報に活用</p>
--	---	--

イ 使命 2：市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを生かした映像分野の拠点となるとともに、現代のアートの発信拠点となる。また、多様な美術分野への様々なアプローチを用意することで、美術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口の増加に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●企画展「あざみ野フォト・アニュアル2023」【再掲】</p> <p>□年1回 2月 来場者数 企画展 1,500名・コレクション展 1,500名</p> <p>□平均満足度 4.6以上</p> <p>●カメラコレクションに関する講座開催</p> <p>□2月 1回 30名</p> <p>○小学校写真カメラ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□1/28-2/26 あざみ野フォト・アニュアル2023</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「潮田登久子 写真展 永遠のレッスン」 ・横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「写真をめぐる距離」 <p>□来場者数：6,487名</p> <p>□平均満足度：4.8（5点満点）</p> <p>■企画展では静物を中心に端正なモノクロ写真を撮影する写真家、潮田登久子の個展を開催。代表作「冷蔵庫/ICE BOX」のほか、家族が生活した世田谷の洋館で撮影された「マイハズバンド」など途切れることなく撮り続けた作品約130点を展示。</p> <p>■会期中パンフレット2種を来場者へ無料配布。</p> <p>■「冷蔵庫/ICE BOX」ほか5種の写真集を会場で販売、合計140冊の売上。</p> <p>■コレクション展では撮影者と被写体、カメラに内在する距離に関する機構など、写真にまつわるさまざまな「距離」をキーワードに、写真技術の発展と写真表現の関係を探った。</p> <p>【関連事業】（企画展）</p> <p>□1/28 アーティストトーク 潮田登久子 聞き手 佐藤直子（担当学芸員）58名</p> <p>□2/23 ギャラリー・トーク 佐藤直子（担当学芸員）35名</p> <p>□2/26 対談 潮田登久子×光田ゆり（美術評論家）62名</p> <p>【関連事業】（コレクション展）</p> <p>□2/18 ワークショップ「あなたのカメラのレンズ活用術」12名 講師 牧野智晃（写真家）</p> <p>□2/11 あざみ野カレッジ「ステレオ写真探訪」21名、うちオンライン参加6名 講師 日比谷安希子（担当学芸員）</p> <p>□2/23 コレクション学芸員によるギャラリー・トーク 日比谷安希子（担当学芸員）20名</p>
--	---	---

	<p>ワークショップ ※よこはま縁むすび 講中と共催 □ワークショップ年 1回 □「写真と俳句」展示 1回</p> <p>○教師のためのプロ グラム □7月 1回 50名</p> <p>○「横浜市立中学校 アニメーションフェ スティバル」 ※横浜市教育委員会 と共催 □1月 1回</p> <p>●カメラ・写真コレ クション保存・研究・ WEB公開 □ホームページ内紹 介ページ、コレクシ ョンデータベース等 の閲覧件数 年間 1,100件</p>	<p>□近隣小学校2校に出張し5年生に写真ワークショ ップを開催 【再掲】 ・5/13・20・27、6/3・9 山内小学校 5年生4ク ラス、8コマ実施 ・6/10・17・24、7/1 慶応義塾横浜初等部 5年生 3クラス、6コマ実施 □7/29-8/7 展示「写真と俳句展～小学校5年生たち のまなざし」 1回 「あざみ野こどもぎやらい」期間に合わせ写真ワ ークショップの成果展として、子どもが撮影した写 真に自作の俳句を添えた作品を展示 □来場者数 830名</p> <p>□7/27「教師のためのプログラム」アニメーショ ン・ワークショップ 対面1回 27名、オンライン 1回 21名 合計48名 講師 布山タルト ※横浜市教育委員会と共同主催</p> <p>□1/21 横浜市中学校アニメーションフェスティバル 上映会 出品校10校 会場：市庁舎アトリウム 中学校美術部生徒による作品発表会の講師手配・進 行サポート、ステッカー作成・配布 ※横浜市教育委員会・横浜市立中学校教育研究会美 術部会、横浜市立学校総合文化祭実行委員会との共 同主催</p> <p>●カメラ・写真コレクション保存・研究・WEB公開 ■収蔵作品の状態確認・調査・整備の実施、不正確 な目録を調査、補完して修正。 □閲覧件数 5,639件 ■データベース整備 随時 ■経常的な作品の状態確認、修復の実施 ■収蔵環境の調査を実施 ■外部からの貸出、熟覧について対応 ■町田市国際版画美術館の10/8-12/11 企画展「版 画×写真 1839-1900」への協力／当館所蔵品51点 を貸出</p>
--	--	---

<p>●現代アートの発信拠点として</p>	<p>● Gallery in the Lobby <input type="checkbox"/>年4回 ■城西国際大学による iPad 展示解説提供受け</p> <p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」 <input type="checkbox"/>10月1回1,500名 <input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p>	<p><input type="checkbox"/>情報誌「アートあざみ野」に「Gallery on the Magazine」としてコレクション紹介の記事連載年3回</p> <p><input type="checkbox"/>Gallery in the Lobby (小展示) 総合受付脇で年4回展示 ・5/7-5/29 カメラのしくみ ・10/1-10/23 あのメーカーとカメラをつくる ・10/26-11/13 ディスクカメラ ・3/4-3/23 カメラ・フィルムのキャンペーングッズ</p> <p>■城西国際大学メディア学部メディア情報学科ニューメディアコースの学生による iPad での説明データ提供受け</p> <p>■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関とは日常的に連携し、コレクションの管理等について情報交換</p> <p>■カメラ・写真コレクション英語版データベースの運営</p> <p><input type="checkbox"/>10/8-10/30「あざみ野コンテンポラリーVol.13「CLOTH×OVER 糸と布 日常と生をつづる」 来場者1,604名 平均満足度4.73(5点満点) 糸、布を素材として、「縫い」「織り」「刺繍」「染め」などのプロセスを通じて制作を続けるアーティスト3名の作品を展示。遠藤薫、小林万里子、ユ・ソラの3名それぞれの日常感覚が豊かにクロスオーバーする表現の世界を紹介。</p> <p>【関連事業】</p> <p>■10/8 出品作家によるクロストーク 遠藤薫、小林万里子、ユ・ソラ/聞き手：佐藤直子(担当学芸員)18名</p> <p>■10/22 ワークショップ「私たちの住んでいる家」 うちのモケイをつくろう 講師 ユ・ソラ 12名</p> <p>■10/23 担当学芸員によるギャラリー・トーク 佐藤直子(担当学芸員) 19名</p>
-----------------------	--	---

<p>●市民の皆さんが主体となって文化芸術活動に関わる取組</p>	<p>●Showcase Gallery (小展示)【再掲】</p> <p>□年3回</p> <p>■黄金町エリアマネジメントとの連携</p> <p>■黄金町バザールと時期を合わせて開催</p> <p>●アーカイブ&アーティストインタビュー活用</p> <p>□あざみ野コンテンポラリー 3本</p> <p>□あざみ野フォト・アニュアル 1本</p> <p>□Showcase Gallery 3本</p> <p>●市民のためのプログラム【再掲】</p> <p>●着衣クロッキー・ヌードクロッキー 20回/参加人数 250人</p> <p>□平均満足度 4.6以上</p> <p>●講座</p> <p>□6コース 22回/参加人数 290人</p> <p>□平均満足度 4.6以上</p>	<p>■10/29 あざみ野カレッジ企画展関連講座「ルス・アサワの芸術」講師 沢山遼 (美術批評) 28名</p> <p>□Showcase Gallery (小展示)【再掲】</p> <p>1F エントランスで行うシリーズ小展示。当館の特色にフォーカスしたテーマで開催 年3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/23-9/19 アーティスト×横浜市所蔵カメラ写真コレクション 白井晴幸展 ・9/24-12/11 黄金町エリアマネジメントセンター連携企画 瀧健太郎展 (黄金町レジデントアーティスト) ・1/7-3/19 シリーズ陶の表現 茂田真史展 <p>□展示作業のようすやアーティストインタビューの動画を YouTube で公開 計9本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宏明、南條健吾、ROZA (ダンスインタビュー) 1本 ・あざみ野コンテンポラリー紹介 1本 ・遠藤薫、小林万里子、ユ・ソラ 3本 ・潮田登久子 1本 ・白井晴幸、瀧健太郎、茂田真史 3本 <p>■市民のためのプログラム</p> <p>さまざまな内容のプログラムを用意し市民の「やってみよう」に応える講座を開催し、毎回応募数が定員を上回り抽選となる人気。</p> <p>■オープンスタジオ「ヌード・クロッキー」については換気と定員数に留意し2年半ぶりに再開。</p> <p>□オープンスタジオ 年5コースのべ20回のべ参加者 279名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「着衣クロッキー」年3コース (1コース4回) ・「ヌード・クロッキー」年2コース (1コース4回) <p>□平均満足度 4.62 (5点満点)</p> <p>□講座 年6コース のべ参加者 371名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめての静物デッサン 1コース5回のべ72名 ・はじめての透明水彩 1コース 5回のべ69名
-----------------------------------	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 掻き落としと象嵌 1コース6回のべ87名 ・日本画で季節のモチーフを描く 1コース6回のべ86名 ・日本画筆ワークショップ 1コース1回 31名 ・ショーケースギャラリー関連ワークショップ「土の表情を活かした土器づくり」 1コース2回26名 <p>□平均満足度 4.93 (5点満点)</p>
--	--	---

ウ 使命3：地域コミュニティが抱える課題に対して文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気づき、考えを深める契機を創出する。

<p>[取組内容]</p> <p>●文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●地域課題に対して、施設が持つ文化芸術の手法によるアプローチの可能性を模索し、他の団体や機関と協働の中から、課題に向き合えるきっかけを作り、気づきの機会を提供</p> <p>□協働する団体（行政や教育機関、福祉・医療施設、自治会やシニアクラブ、区民利用施設等） 5団体</p> <p>●「やさしい街あざみ野実行委員会」への参加</p> <p>□「やさしい街あざみ野実行委員会」との協働による高齢者・認知症をテーマにしたイベント・勉強会の実施 1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■「あざみ野認知症の人にやさしい街プロジェクト」（やさしい街あざみ野実行委員会）メンバーとしての活動を通じ、当施設の周知やイベントの告知、地域が抱える問題について意見交換を行うことができた。</p> <p>■荏田地域ケアプラザの協力により、ケアプラザ通所者に10月の対話型鑑賞会トライアルに参加してもらった。</p> <p>■若年性認知症支援団体 GrASP(株)と対話型鑑賞会の開催に向けて話し合いを重ね、2月に実施。終了後に課題の振り返りを共有。</p> <p>■山内図書館と連携し、あざみ野フォト・アニュアル 2023 紹介パネルを展示期間にあわせて閲覧コーナーに設置し、地域回遊を促進。</p> <p>■山内図書館「りんごの棚」コーナーにフェローアートギャラリーのちらしと紹介パネルを設置。</p> <p>■荏田の慶應義塾横浜初等部にて、図工の授業として「カメラと写真ワークショップ」を初展開。</p> <p>■写真ワークショップの成果展を、近隣小学校2校の合同で初開催。当ギャラリーが媒介となり公立と私立の学校の地域でのつながりを創り、関係者の来館を促した。</p> <p>■フェローアートギャラリーのアウトリーチとして青葉区民文化センターフィリアホール外通路にて作品3点を展示。令和3年度に続き2回目。【再掲】</p>
--	--	---

<p>●市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します</p>	<p>●財団他施設との協働</p> <p>□横濱ジャズプロムナードとの共催コンサート 2回</p> <p>□大佛次郎記念館との共催講座 1回</p> <p>●青葉区内他施設との協働</p> <p>□青葉区民文化センターフィリアホールとの共催</p> <p>ロビーコンサート 2回</p> <p>あざみ野サロン1回</p> <p>●認知症の方とその家族のための鑑賞会</p> <p>□企画展鑑賞会 1回</p> <p>□参加者ヒアリング 1回</p>	<p>□横濱ジャズプロムナード連携／横浜音祭り 2022との共催 2回</p> <p>・9/11 JAZZ 名盤のオーディオコンサート</p> <p>・10/23 みなとみらいスーパービッグバンド公演</p> <p>□大佛次郎記念館との共催講座 1回</p> <p>・4/17 あざみ野カレッジ「聴くとは何か 他者の話が聞けなくなる時」講師 東畑開人（第19回大佛次郎論壇賞受賞者）</p> <p>□フィリアホールとの共催事業 4回</p> <p>フィリアホールのホール改修期間に3回の出張コンサート等を共催</p> <p>・7/10 ロビーコンサート（クラリネット、ピアノ、ヴァイオリン）</p> <p>・7/20 フィリアホール出張企画 あざみ野サロン「歴史を作った女性音楽家たち」</p> <p>・3/12 ロビーコンサート（サキソフォン・カルテット）</p> <p>・フェローアートギャラリー・エクステンション 7/23-9/26 長瀬明代</p> <p>■認知症の方とその家族、介護者のための対話型鑑賞会の開催 2回【再掲】</p> <p>・10/28「あざみ野コンテンポラリーVOL.13」でのトライアル鑑賞会（共催 横浜市荏田地域ケアプラザ）25名</p> <p>・2/22 「あざみ野フォト・アニュアル2023」での若年性認知症とその家族・介護者のための鑑賞会（協力 GrASP(株)）30名</p> <p>□振り返りヒアリング実施 都度</p> <p>■高齢者、認知症の方とご家族のための講座「いくつになっても楽しめるアートスペースを考える」開催 全2回</p> <p>・1/8 「心にも体にもいい」美術館体験 講師 稲庭彩和子 34名</p> <p>・1/9 「みんなで知ろう、認知症」講師 おおさこ心のクリニック 大迫正行 22名</p>
-----------------------------------	--	--

<p>●「予約制だよ！あざみ野 親子のフリーゾーン」「親子で造形ピクニック」アンケート実施 □毎回</p> <p>●ワークショップ・講座参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート実施 □毎回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」参加者への「生涯学習」等に関するアンケート実施 □7回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」のオンライン配信 □講座 1回</p> <p>●アートサポーター活動の再開準備 □ワークショップでの協働 年1回</p> <p>●フェローアートギャラリー【再掲】 □年3回 □作家へのフィードバック 毎回</p> <p>●フェローアートギャラリー・エクステンション【再掲】 □1か所</p> <p>●センター横浜北</p>	<p>●「予約制だよ！あざみ野 親子のフリーゾーン」「親子で造形ピクニック」アンケート実施 □毎回</p> <p>●ワークショップ・講座参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート実施 □毎回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」参加者への「生涯学習」等に関するアンケート実施 □7回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」のオンライン配信 □講座 1回</p> <p>●アートサポーター活動の再開準備 □ワークショップでの協働 年1回</p> <p>●フェローアートギャラリー【再掲】 □年3回 □作家へのフィードバック 毎回</p> <p>●フェローアートギャラリー・エクステンション【再掲】 □1か所</p> <p>●あざみ野フェロー</p>	<p>□アンケート実施 毎回</p> <p>□アンケート実施 毎回</p> <p>□アンケート実施 毎回</p> <p>□2/11 開催あざみ野カレッジ「ステレオ写真探訪」で zoom によるオンライン配信初実施 オンライン参加 6名</p> <p>□7/29-8/7「あざみ野こどもぎやらりい 2022 ぞうけいラボ」でアートサポーター活動再開のべ21名 ■HP でアートサポーター随時募集</p> <p>□フェローアートギャラリー 年3回 ・4/27-6/26 小河原由紀子 ・9/28-11/27 Atelier Sunoiro ・2/1-3/26 毛利秀勝 ※「使命1」再掲</p> <p>□フェローアートギャラリー・エクステンション 年1回、1カ所 ・7/23-9/26 長瀬明代 ※「使命1」再掲 青葉区民文化センターフィリアホール外廊下</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ</p>
---	--	--

<p>との連携をさらに充実させます</p>	<p>マルシェ <input type="checkbox"/>年 5 回 来場者 3,000 名</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野サロン開催 ■男女共同参画センター横浜北との共催 ■うち 1 回を青葉区民文化センターフィリアホールとの 3 館共催 <input type="checkbox"/>年 3 回 350 名 ※センター横浜北と共催</p> <p><input type="checkbox"/>アートフォーラム 17th アニバーサリー <input type="checkbox"/>10 月 22、23 日 1 回 ※センター横浜北と共催</p> <p><input type="checkbox"/>Welcome! ロビーコンサート【再掲】 <input type="checkbox"/>年 9 回 年間延べ 600 名 ※男女共同参画センター横浜北と共催 ※うち 2 回をフィリアホールと共催</p>	<p>年 6 回開催 6/7, 8/5・6, 10/22・23, 12/18 来場者数：7,930 名 のべ参加団体数：39 団体</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野サロン 計 2 回（自主 1 回、共催 1 回） ・7/20 VOL. 75 「歴史を作った女性音楽家たち クララ・シューマンと幸田延」 152 名 ナビゲーター 浦久俊彦、ヴァイオリン 小林美恵、ピアノ ジャン・ミッシェル・キム ※フィリアホール企画、フィリアホール・市民ギャラリーあざみ野・センター横浜北の 3 館連携 会場：レクチャールーム</p> <p>・10/22 VOL. 76 映画上映「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」 2 回 合計 315 名 ※センター横浜北企画、会場：レクチャールーム</p> <p>■10/22・23 アートフォーラムあざみ野 17th アニバーサリー開催 <input type="checkbox"/>来場者 計 2,313 名 ※センター横浜北と共催</p> <p><input type="checkbox"/>Welcome! ロビーコンサート【再掲】 年 9 回、来場者数 計 1,218 名 5/29、6/12、7/10、7/31、9/11、10/23、11/13、1/8、3/12 ※すべて男女共同参画センター横浜北と共催 ※7/10、3/12 フィリアホールと共催</p>
-----------------------	--	--

エ 使命 4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コメンズの形成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
--------	--------	-------------

<p>●地域の資源を発掘し、市民とつなぎます</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」地元の地域資源を題材とする講座 □年3回 100名 ※一部「よこはま縁むすび講中」として開催</p> <p>●地元大学等と事業連携</p> <p>□学生ボランティアに参加による事業1回</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」地元の地域資源を題材とする講座 年4回開催 計143名 ・4/17「聞くとはなにか-他者の話を聞けなくなる時」東畑開人（臨床心理士） 64名 ※共催 大佛次郎記念館 ・9/11「アナログレコードで聴く ウェストコースト・ジャズ名盤」渋谷清 30名 ※協力 アキュフェーズ(株) ・9/24「横浜北部のニュータウン開発と鉄道」平井誠二（大倉山精神文化研究所所長） 28名 ・2/23 あざみ野フォト・アニュアル2023 関連企画「ステレオ写真探訪」日比谷安希子 21名 ※2/23 よこはま縁むすび講中事業</p> <p>●横浜美術大学、横浜国立大学にエクステンション講座を提案（未実現）</p> <p>●男女共同参画センター横浜北との協働で、女子美術大学アートプロデュース表現領域3年生の「ミュージアムスタディⅡ」演習において、アートプロジェクトを提案。企画展「あざみ野コンテンポラリー」で学生がTwitterで展覧会情報を毎日発信。</p>
<p>●地域の様々な担い手とつながる機会を作ります</p>	<p>●あざみ野フェロームルシェ【再掲】 □年5回 3,000名</p> <p>●アートプラザのお弁当やさん □年30回</p> <p>○アートフォーラム17th アニバーサリー □10/22, 23 1回</p>	<p>□あざみ野フェロームルシェ【再掲】 年6回開催</p> <p>□北部地域で主に活動するキッチンカー・移動販売車のアートプラザでの出店 年31回</p> <p>■新規定期出店 1店 WABI-SABI ■イベント初出店 3店 ハンデルスベーゲン（アイスクリーム）、香老舗松栄堂（お香）、萬駄屋（野菜、調味料） ■定期出店終了 MonaMona キッチン、2 バナネイラ</p> <p>□10/22, 23 アートフォーラム17th アニバーサリーとして開催 1回【再掲】 ※男女共同参画センター横浜北と共催</p>

<p>●北部地域の文化施設全体が、文化的 commons の形成に貢献できるよう協働します</p> <p>●新たなつながりと活力を生む、「あざみ野河津桜坂文化圏(仮称)」創出</p>	<p>2,000名 ※センター横浜北との共催</p> <p>○青葉区主催事業への共催 ※青葉区地域振興課と協力</p> <p>●地元企業との連携・協力による子ども向けワークショップ・教育PF事業 □年1回開催</p> <p>○よこはま縁むすび講中事業実施 □小学校カメラワークショップなど5件</p> <p>●周辺地域施設等との連携</p>	<p>2日間に両館の事業やフェロマルシェを集中して展開し開館記念日のイベント感を醸成</p> <p>□青葉区主催事業への共催 実行委員会参加、会場設営・運営協力を行った。 ・7/9-17 あおば美術公募展 ・11/29-12/12 青葉区民芸術祭</p> <p>■神奈川県立麻生養護学校の職業体験受け入れ 生徒2名をアートフォーラムあざみ野として2日間×2回受け入れ(センター北1回・ギャラリー1回)</p> <p>■山内小学校学校運営協議会メンバーとして館長が出席し意見交換</p> <p>□横浜市芸術文化プラットフォーム等で使用する資材を地元企業の古川電工パワーシステムズ(株)から提供を受け実施 2回 ・7/6, 7, 8 すみれが丘小6年生 リサイクルアート<教育プラットフォーム事業> ・1/18, 19 すみれが丘小5年生 リサイクルアート<よこはま縁むすび講中事業></p> <p>■文化庁「令和4年度 Innovate MUSEUM 事業」助成を受け、北部4区の文化施設が「よこはま縁むすび講中実行委員会」を組織し地域資源の発見・発信を行う事業を継続して展開</p> <p>□よこはま縁むすび講中事業として実施した当館事業 3件 ・すみれが丘小5年生リサイクルアート・ワークショップ ・外国人親子のためのフリーゾーン ・あざみ野カレッジ「ステレオ写真探訪」オンライン配信</p> <p>■横浜市歴史博物館主催「都筑・青葉・港北 和の(大)文化祭」の「和太鼓をたたこう！」企画協力</p>
---	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ■ あざみ野散歩動画公開 ■ 山内図書館、地区センターとの事業連携 ■ 「やさしい街あざみ野」実行委員会との協働 ■ 横浜慶應初等部ほか地元教育期間との連携模索 ■ 近隣支援学校・養護学校生徒の職業体験受け入れ ■ 東急田園都市線沿線「文化施設」相互ピアレビュー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ みどりアートパーク 土絵の巡回展示への協力 ■ 「アートフォーラム通り」動画の公開継続 あざみ野駅をはじめ、地区センター、メルセデスベンツあざみ野等近隣の15の施設・店舗を紹介するYouTube動画 ■ 山内図書館 広報連携（フォトアニュアル、フェローアート） ■ 荏田地域ケアプラザの協力による事業開催 ■ 慶應横浜初等部、山内小でのワークショップ、展示開催 ■ あざみ野第一小「横浜市小学校体育実技発表会」に向けてダンスクリニック講師を紹介 ■ 職業体験受け入れ 12/6,7 神奈川県立麻生養護学校高等部生徒2名 ※使命3再掲 ■ みどりアートパークとお互いのダンス事業についてピアレビューのトライアル実施 ■ みどりアートパーク（長津田）、フィリアホール（青葉台）との月1回の3館オンラインミーティングによる情報共有・意見交換の場をスタート
--	--	---

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者ニーズの把握 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のルール徹底 ■ 手指消毒、検温、マスク着用 ■ 三密回避の展示活動 ■ キャッシュレス導入 ■ アンケート実施と意見共有 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者と打ち合わせ時に横浜市文化施設ガイドラインの確認 ■ 交通系、クレジット、電子マネー、PayPay、楽天ペイ導入済み ■ 親子のフリーゾーンでは支払の約60%がPayPay利用 ■ アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・展示室：利用終了日までに実施
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ■意見聴取（ヒヤリング）実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アトリエ：継続的利用団体は年度末、単発利用団体は都度実施 ・イベント来場者：アンケート配布またはQRコードによるWEB上でアンケート回答 ■アンケートデータは質問項目を集計しイベント開催から1週間以内にスタッフ全員に回覧して情報共有を図った。 ■意見聴取（ヒヤリング） 展示室利用者は打ち合わせの際に実施 アトリエ利用者はアンケートに替えて実施
<p>●施設貸出の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■公平・公正で透明性の高い施設貸出を実施 ■専門性の高いサポート、ホスピタリティを提供 ■新規貸館利用者の創出に向けたインターネット活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施。利用団体の高齢化を考慮し展示および撤収作業について安全な作業への目配りを行った。 ■WEB、SNSを活用し定期的に施設情報を発信 ■施設貸出案内ちらしを配架
<p>●施設貸出の流れと取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■展示室：1週間単位で利用受付／時期が迫った空き室は1日単位で利用受付 ■空き情報をホームページ上で公開、SNS等で情報発信 ■専門性に基づいた展示構成アドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ■展示室：1週間単位（火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで）で利用を受付 ※利用まで3か月を切る空室については、日単位で貸出を実施。 ■空き情報を即時HPで公開 ■感染症の状況と利用者の利便性に配慮し、アトリエの利用抽選会は来館ではなく事前希望を聞いて集約、重複案件のみ抽選会実施に変更 ■専門性に基づいた的確なアドバイスの実施 ■施設予約システムの導入検討
<p>●利用者へのコミュニケーションとサポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■コンシェルジュとして相談受 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施 ■初めての利用者には搬入から搬出まで立ち会って対応

<p>●文化施設としての専門性を発揮するための人材配置とその育成</p>	<p>■利用団体に対しての広報協力</p> <p>■物品の預かり</p> <p>■財団法人材マネジメント・ポリシーを遵守</p> <p>■事業担当と施設運営担当について適正に配置</p> <p>■OJT及び各種研修による職員育成</p>	<p>■利用団体に対しての広報協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPへ「展示室・アトリエスケジュール」掲載 ・「ヨコハマ・アートナビ」、「マグカル」等への情報提供 ・利用期間中の展示の様子をHP、SNSで発信 ・情報誌『アートあざみ野』への情報掲載 ・エントランスロビーのラックにチラシの配架 <p>■アトリエ継続的利用団体への備品保管ボックス貸出を継続実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団で実施する研修に職員が参加
--------------------------------------	--	--

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。予防的修繕にも着実に取り組む。

<p>[取組内容]</p> <p>●施設管理・環境維持・警備等－共有部分について</p> <p>●施設管理－専有施設について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p> <p>□管理合同ミーティング 月3回以上</p> <p>■法令を遵守し必要な保守点検や測定の実施</p> <p>■職員による日常的な目配りにより不具合早期発見</p> <p>●展示室の維持管理</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■横浜市文化施設ガイドラインに沿って対応</p> <p>3/13よりマスクについては自己判断</p> <p>□センター横浜北・管理委託会社である西田装美(株)との3者による管理合同ミーティングを毎火曜日に開催</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>□展示室壁面の塗装チェック・必要箇所の塗り直し 年1回</p>
--	--	---

<p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（収蔵庫）</p>	<p>●アトリエの維持管理</p> <p>●その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等）管理</p> <p>●収蔵庫の環境維持</p>	<p>□1/23 展示室可動パネルの保守点検 年1回</p> <p>□展示室可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修／随時展示室貸出備品の点検・整備／随時高所作業車保守点検／年1回</p> <p>■不具合の発生には随時対応</p> <p>■修繕、保守点検を実施（専有部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/23 展示室壁面塗装 ・9/27 展示室1入り口中央引き戸吊り車交換 ・12/26 建物正面バナー照明ライト更新（ギャラリー部分） ・12/25-27、1/9-11 パッシブインジケーターによる測定 ・10/24 マンリフト保守点検 ・3/11 ポルティリフト保守点検 <p>■貸出附带設備・音響設備の点検、整備／随時</p> <p>□陶芸用電気窯保守点検については令和4年3月設置につき令和5年度に実施予定</p> <p>□土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回 12/12 1回</p> <p>■修繕、保守点検を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/28 アトリエ流し場混合水栓水漏れ修理 ・12/12 パネルソー保守点検 ・12/26 アトリエ控室火災感知器増設、アトリエカーテン移設工事 ※消防法による <p>■衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り</p> <p>昇降機設備保守点検／業務の基準の通り</p> <p>□通年で温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%を維持</p> <p>pH 値を定期的に測定し、結果に応じケミカルフィルター年2回交換</p> <p>□文化財喰害虫生息調査／年8回実施</p> <p>□担当学芸員ほか職員による定期的な清掃／月1回</p> <p>□担当学芸員の立会いのもとに庫内の機器、設備の点検を実施／月1回</p> <p>■収蔵庫担当による日々の庫内点検実施（目視もしくは監視カメラ）</p> <p>□収蔵庫設備の保守点検</p>
--------------------------------	--	--

<p>●維持保全・修繕について</p>	<p>■コレクション作品管理</p> <p>■計画的・予防としての修繕</p> <p>■緊急を要する修繕</p> <p>●備品管理の適正化</p> <p>■物品管理表の見直し</p> <p>■写真帳導入の検討</p> <p>□物品棚卸の実施 1回</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の徹底</p>	<p>収蔵庫、展示室空調設備保守点検／年1回</p> <p>・9月/3月 パッシブインジケータによる測定、フィルター交換</p> <p>■地震発生時は即状況を確認し横浜市と財団に報告</p> <p>■コレクション作品管理貸出、熟覧、画像提供</p> <p>・4/24-6/27 町田市立国際版画美術館で開催の「版画と写真」へ所蔵品51点を貸出【再掲】</p> <p>■共有部：センター横浜北・設備管理会社と連携</p> <p>■専有部：今後必要となる修繕項目について検討し1件60万円を超える事案に関してはモニタリング等を通じて設置者に情報共有・相談記載のとおり実施</p> <p>■緊急を要する修繕</p> <p>業務の基準に則り速やかに横浜市、関係各所へ連絡・報告を行う。運営に支障がないことを最優先に応急処置を取りつつ、最適な対応を検討、実施</p> <p>・エントランス天井漏水について、12月に横浜市建築局の下見を受け、緊急度の高い案件として令和5年度に横浜市から屋上防水工事を実施予定</p> <p>■物品管理票（シール）添付</p> <p>■物品台帳を補足するため写真データ簿作成 随時</p> <p>□棚卸の実施 10月 1回</p> <p>■横浜市によるガイドラインに沿った対応</p> <p>■講座・ワークショップ参加費の支払いにキャッシュレス決済（クレジットカード・電子マネー・交通系マネー・PayPay）導入継続</p> <p>■自動検温器の設置</p>
<p>●事故防止・防火防災・保険・感染症対策等</p>	<p>●事故対応</p> <p>■怪我や急病人への迅速な対応</p> <p>□スタッフ研修の実施</p> <p>■AEDの設置</p> <p>■事故発生の原因を</p>	<p>■来館者の怪我、急病や多目的トイレの緊急呼出等、異常発生があれば、センター横浜北・ギャラリーあざみ野の職員1名ずつが即時に急行し対応。</p> <p>■救急要請にスムーズに対応できるよう、スタッフの研修を実施し、全員が研修受講済み。</p> <p>・11/15 AED研修開催</p> <p>■事故発生の原因を調査、報告を随時行った</p>

<p>●災害時対応一地域に頼られる公共施設として</p> <p>●業務計画・報告および評価</p>	<p>調査、報告</p> <p>■防火防災 合同防災訓練／年 2 回</p> <p>■施設賠償責任保険への加入</p> <p>■動産保険等への加入</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練／年 1 回</p> <p>■日常的なネットワークを構築し、地区全体での防災力を強化</p> <p>■飲料自動販売機に災害用ベンダーを導入</p> <p>■事業計画書・事業報告書の作成・提出</p> <p>■日報・月報の作成、月間業務報告</p> <p>■業務評価（自己評価）を実施</p>	<p>■センター北、設備管理会社とともにアートフォーラム自衛消防隊を組織</p> <p>・11/15 第1回 合同防災訓練、AED 研修</p> <p>・3/7 第2回 合同避難訓練、HUG 研修</p> <p>■センター横浜北と協議の上、適切な施設賠償保険に加入</p> <p>■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険等については、個別に適正な保険を契約</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設適応訓練 1 回</p> <p>・3/7 HUG（避難所訓練ゲーム）研修 青葉区総務課職員による出張講義</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■スタッフ全員が救急救命研修受講済み</p> <p>■1F 自販機 1 台を災害用ベンダーとして契約締結</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■指定管理第 4 期中間評価対応</p> <p>・1/8 選定評価委員会開催</p>
---	--	---

2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

<p>[目指す成果]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p>	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <p>□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="502 1877 922 2027"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1 人		副館長	1 人		<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="1002 1877 1428 2027"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1 人		副館長	1 人	
項目	人数	備考																		
館長	1 人																			
副館長	1 人																			
項目	人数	備考																		
館長	1 人																			
副館長	1 人																			

	職員	8人		職員	8人	
	臨時職員	3～5人	短時間勤務	臨時職員	3人	短時間勤務
●適切かつ効果的な勤務体制を確立	<input type="checkbox"/> 勤務体制について 基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは11:00-19:45）2名 ※全職員によるローテーション制			<input type="checkbox"/> 勤務体制について 基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは11:00-19:45）2名 ※全職員によるローテーション制 ※短時間勤務職員2名		
●切れ目のない責任体制の維持	<input checked="" type="checkbox"/> 施設利用に応じシフトを組み職員のワークライフバランスに配慮した勤務と効率的な運営を両立 <input checked="" type="checkbox"/> リモートデスクトップを活用した在宅勤務含む勤務体制導入 <input checked="" type="checkbox"/> 館長・副館長不在時の代行者を定め責任体制を明確化			<input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり実施 <input type="checkbox"/> リモートデスクトップ導入職員3名 <input type="checkbox"/> 月平均超勤時間 9.3時間/人 <input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり実施		

イ 必要人材の配置及び能力担保

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置	<input checked="" type="checkbox"/> 館長・事業責任者：当財団や民間で文化事業や施設運営について十分な経験を有し、芸術分野全般への理解があり、マネジメント能力の高いベテラン職員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 副館長・管理運営責任者：連絡・調整をはじめとする施設を管理・運営するための基礎的な業務能力を有し、当財団や民間での文化事業や施設運営の経験を有する職員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 事業系及びコレクション担当：美術に関する専門教育を修め、学芸員の資格を有する職員または鑑賞・造形教育エドゥケーター、もしくは両者を志望する職員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> コレクション担当には、写	<input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり配置 <input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり配置 <input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり配置 ・主席学芸員 1名 ・学芸員 2名 ・エドゥケーター 2名（副館長含む） <input checked="" type="checkbox"/> 記載のとおり配置

	真・映像を専門とする学芸員を配置	
--	------------------	--

ウ 横浜市の重要施策を踏まえた対応

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●適正な個人情報保護・情報公開</p>	<p>■横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力</p>	<p>■記載のとおりを実施</p>
<p>●人権尊重</p>	<p>■財団のコンプライアンス委員会の情報を共有し、職員・スタッフのコンプライアンス意識を高める</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った感染症予防対策の徹底</p>	<p>■記載どおりを実施</p>
	<p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱い</p>	<p>■記載どおりを実施</p>
	<p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため人権尊重の取組み</p>	<p>・2/26 横浜市主催人権研修オンライン受講「LGBTを知る」受講、館内で情報共有</p>
	<p>■人権研修受講し情報共有</p>	
<p>●環境への配慮</p>	<p>■ゴミを適切に分別し排出量を抑制</p> <p>■利用者にゴミの持ち帰りの原則を徹底、ゴミ袋販売はコロナのため中止</p> <p>■電気とガスの使用量を極力抑制</p>	<p>■記載どおりを実施</p>
		<p>□10/1-10/31 アートフォーラムあざみ野としてフードドライブへ参加、430点、48.9キログラム／青葉フードシェアネットワークへ寄贈</p>
<p>●市内中小企業への優先発注</p>	<p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り</p>	<p>■記載どおりを実施</p>

	扱うものを除き、市内中小業者に発注を努力	
--	----------------------	--

(3) 管理について

ア カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管

<p>[取組内容]</p> <p>● 貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>[達成指標] ※「使命5」再掲</p> <p>● 収蔵庫内環境維持</p> <p>□ 年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%</p> <p>■ pH 値を定期的に測定し、結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□ 文化財喰害虫生息調査 年8回実施</p> <p>□ 庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回</p> <p>● 専門機関との連携、協力</p> <p>■ 日本カメラ博物館、横浜美術館、東京都写真美術館等と情報交換、専門分野の助言受け</p> <p>■ 全国美術館会議に新加盟し専門研修や情報交換</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 記載どおりに実施</p> <p>■ 記載どおりに実施</p> <p>□ 文化財喰害虫生息調査 年8回実施</p> <p>□ 庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回</p> <p>■ 記載どおりに実施</p> <p>■ 今年度より全国美術館会議に入会、専門部会に参加し情報交換</p> <p>・ 6/22 川崎市民ミュージアム レスキュー参加 1名</p> <p>・ 3/20 「美術館の防災対策」OL 研修参加 3名</p>
--	--	---

イ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>● アートフォーラムでは、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 各種マニュアルの随時見直し、必要に応じて更新</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 記載どおりに実施／更新なし</p>
--	---	---

<p>●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。</p> <p>●防災の取組みとして、自館の防災はもちろん近隣の防災拠点としての役割も担います。</p>	<p>■危機管理マニュアルの見直しと必要に応じた更新</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的に確認、緊急時は「アートフォーラムあざみ野」全スタッフが一致して対応</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練 年2回</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回</p>	<p>■記載どおりに実施／更新なし</p> <p>■帰宅困難者一時滞在施設受け入れマニュアルの備え置き</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練 年2回 11/15, 3/7 【再掲】</p> <p>□避難所運営ゲーム（HUG）による施設受け入れ対応研修 年1回 3/7 【再掲】</p>
---	---	--

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>[取組内容]</p> <p>●展示室・アトリエとともに、現在の利用区分(単位)・料金が定着しているため、従来の設定を踏襲します。</p> <p>●割引、減免制度については、横浜市民ギャラリー条例・同施行規則に従って運用します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■従来の料金体系に沿った利用料金設定を継続</p> <p>□横浜市主催事業：50%減免</p> <p>□横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減免</p> <p>□ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により30～100%減免</p> <p>■アトリエ利用における、夜間割引や学生割引の導入</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■記載のとおり運用</p> <p>□記載のとおり運用</p> <p>■記載のとおり運用</p> <p>■新しい利用促進のための共催基準の要綱策定に着手</p>
--	--	---

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>●自主事業の一部に</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■収支ゼロで執行する事業：市</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□市民のアトリエ事業</p>
--------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

<p>については、指定管理料を充当せずに行います。</p> <p>●利用料金収入を安定的に確保します。</p> <p>●助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。</p>	<p>民のためのプログラム</p> <p>■展示室・アトリエ利用料金収入 7,880 千円</p> <p>□外部助成金の申請 3 件以上</p> <p>□助成金・協賛金・広告料等の外部資金 50 万円以上</p>	<p>収支プラスで執行</p> <p>□利用料金収入（施設・駐車場等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料 7,774,500 円（未達） ・駐車場利用料 3,933,700 円 ・自動販売機手数料 463,868 円 <p>□事業に対する助成金 4 件（申請 5 件） 計 2,581,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村財団 ・文化庁・芸術文化振興基金 ・文化庁・障害者等の文化芸術活動推進助成金 ・横浜アーツフェスティバル実行委員会（横浜音祭り） <p>□よこはま縁むすび講中実行委員会として申請 879,980 円相当（文化庁 Innovate Museum 事業）</p> <p>□その他の助成金 2 件（申請 2 件）計 190,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」助成金第 1 次および第 2 次 <p>□寄付金 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風越建設 <p>□情報誌「アートあざみ野」広告掲載料収入 3 件 105,000 円</p> <p>■「あざみ野こどもぎやらりい 2022 ぞうけいラボ」に対する現物協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養生カラーテープ提供 寺岡製作所 ・キットパス提供 日本理化学工業
--	--	---

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>○経費削減、効率的運営を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■センター横浜北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■記載のとおり努力</p> <p>■物価の高騰、とりわけ電気料金・ガス料金・人件費の負担が増大し、収支の見直しを行った。</p>
--	---	--

6 PDCA サイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PDCA サイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実にを行います。 ●事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。 ●業務評価を実施します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □業務日誌(日報)の作成 休館日を覗く毎日 □月次報告の作成、モニタリング実施 月1回 □事業計画書・事業報告書の作成 1回 □完了報告書の作成 □自己評価(仮決算含む) 年1回 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □記載どおりに実施 □事業計画書・事業報告書の作成 各1回 □完了確認表(自己評価表)の作成により事業報告書を補完 □自己評価(仮決算含む) 年1回
---	---	--

7 その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万に備えます。 ●関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。 ●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。 	<p>[達成指標] ※「使命5」再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設賠償保険に加入【再掲】 アートフォーラムあざみ野(建物)としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担 ■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個別に契約【再掲】 ■関係法令を遵守するとともに法令改正を意識 ■事故や不具合時は横浜市・事務局に即日報告し随時情報共有 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施 ■インボイス制度導入対応研修受講 ■記載のとおり対応
--	--	---

令和4年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	158,000,711		158,000,711	158,000,711	0	横浜市より (R4年度賃金スライド分を含む)
利用料金収入	7,880,000		7,880,000	7,774,550	105,450	展示室・アトリエ利用料金
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0	0	0	
自主事業収入	2,896,000		2,896,000	2,948,336	△ 52,336	※助成金は採択不確定のため予算化していません。
横浜市による運営支援 (休館期間等)					0	休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援 (利用再開後の期間等)				6,334,000	△ 6,334,000	令和4年度物価高騰に伴う横浜市指定管理施設運営支援金 (3,218,000円)
雑入	4,105,000	0	4,105,000	8,682,229	△ 4,577,229	
物販等手数料	23,000		23,000	14,000	9,000	お弁当やさん事業出店料等
自動販売機手数料	618,000		618,000	703,715	△ 85,715	
駐車場利用料収入	3,300,000		3,300,000	3,933,700	△ 633,700	収入をセンター北と折半
その他 (センター北負担金等)	164,000		164,000	4,030,814	△ 3,866,814	センター北と共用の事務機器等管理、Wi-Fi等の按分経費 助成金・協賛金等
収入合計	172,881,711	0	172,881,711	183,739,826	△ 10,858,115	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	75,086,000	0	75,086,000	82,241,249	△ 7,155,249	
給与・賃金	63,802,000		63,802,000	68,341,485	△ 4,539,485	職員 (10名)、常勤アルバイト1名、企画展短期アルバイト分
社会保険料	7,166,000		7,166,000	8,716,984	△ 1,550,984	
通勤手当	1,413,000		1,413,000	1,363,154	49,846	
健康診断費	97,000		97,000	64,068	32,932	
勤労者福祉共済掛金	0		0	48,000	△ 48,000	
退職給付引当金繰入額	2,608,000		2,608,000	3,707,558	△ 1,099,558	
事務費	3,300,711	0	3,300,711	3,976,658	△ 675,947	
旅費	50,000		50,000	49,994	6	
消耗品費	431,711		431,711	1,182,040	△ 750,329	
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	147,400	△ 87,400	
広報宣伝費	0		0	10,880	△ 10,880	
通信費	573,000		573,000	620,995	△ 47,995	
使用料及び賃借料	1,448,000	0	1,448,000	1,430,391	17,609	
横浜市への支払分	127,000		127,000	126,759	241	行政目的外使用料 (飲料自販機、アートプラザのお弁当やさん事
その他	1,321,000		1,321,000	1,303,632	17,368	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、足ふきマシンの外、トイレパト・ドメシ等使用料等
備品購入費	200,000		200,000	35,750	164,250	
図書購入費	0		0	0	0	税抜価格15,000円以上の図書購入に使用
施設賠償責任保険	80,000		80,000	88,323	△ 8,323	
職員等研修費	0		0	8,000	△ 8,000	
振込手数料	220,000		220,000	230,560	△ 10,560	
リース料	0		0	0	0	300万以上のリース物件に使用
手数料	231,000		231,000	164,147	66,853	産業廃棄物処理、インターネット bonding、アトリエ備品の bonding 等。
地域協力費	0		0	0	0	
その他 (雑支出等)	7,000		7,000	8,178	△ 1,178	
事業費	22,800,000	0	22,800,000	26,156,000	△ 3,356,000	
自主事業費	22,800,000		22,800,000	26,156,000	△ 3,356,000	
管理費	57,743,000	0	57,743,000	62,298,148	△ 4,555,148	
光熱水費	13,500,000	0	13,500,000	19,735,986	△ 6,235,986	
電気料金	8,500,000		8,500,000	12,813,120	△ 4,313,120	
ガス料金	3,000,000		3,000,000	5,021,638	△ 2,021,638	
水道料金	2,000,000		2,000,000	1,901,228	98,772	
清掃費	0		0	0	0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
修繕費	2,000,000		2,000,000	1,205,523	794,477	
機械整備費	174,900		174,900	174,900	0	
設備保全費	42,068,100	0	42,068,100	41,181,739	886,361	共用部はセンター北が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	2,370,050		2,370,050	2,370,050	0	
消防設備保守	544,500		544,500	295,900	248,600	
電気設備保守	958,100		958,100	315,700	642,400	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	共用部：建物総合管理契約に含む、専有部：事業費に含む
駐車場設備保全費	462,000		462,000	462,000	0	
その他保全費	37,733,450		37,733,450	37,738,089	△ 4,639	清掃費を含む
共益費	0		0	0	0	
公租公課	7,025,000	0	7,025,000	6,612,522	412,478	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	6,908,000		6,908,000	6,504,600	403,400	
印紙税	60,000		60,000	51,200	8,800	
その他 (法人税)	57,000		57,000	56,722	278	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	6,927,000	0	6,927,000	6,927,000	0	
本部分	6,927,000		6,927,000	6,927,000	0	
当該施設分					0	
支出合計	172,881,711	0	172,881,711	188,211,577	△ 15,329,866	
差引	0	0	0	△ 4,471,751	4,471,751	